

LFPANA ラベルフィーダー 取扱説明書

対応機種 LFPANA-32・LFPANA-60・LFPANA-100

お問い合わせ

Tel / WeChat +86 134 2139 1163

Email sales@baxida-tech.com

ラベルフィーダー—パナソニックフィーダー 取扱説明書 USER INSTRUCTIONS ★ ラベルフィーダーの主な概念 ★ ラベルフィーダーの外観構造 ★ ラベルフィーダーの通し方 ★ ラベルフィーダーの操作説明 ★ ラベルフィーダーのアフター保証

お客様各位：当社が開発・製造したラベルフィーダーをご購入いただき、ありがとうございます。本製品の使用方法をできるだけ早く習得していただくため、この取扱説明書を特別に作成いたしました。これから、当社のラベルフィーダー製品に関する重要な注意事項、外観の詳細、操作説明、保守・メンテナンス方法などを得ることができます。本製品をご使用になる前に、まずよくお読みいただくことをお勧めします。これにより、本製品をより良くご使用いただけます。私たちは、この取扱説明書に記載されている情報が正確で信頼できるものであるよう最大限の努力をいたします。もし漏れや誤りがありましたら、ご指摘いただければ幸いです。感謝申し上げます。本製品は非標準のカスタム品でもあるため、お客様のご要望に応じて製品のハードウェアにいくつかの改善やアップグレードを行うことがあり、その結果、本取扱説明書の内容と実物に差異が生じる場合があります。実物を基準としてください。ただし、これは本製品のご使用に実質的な影響を与えるものではありません。ご了承くださいませ！ご協力ありがとうございます！本製品を正しく使用するため、この取扱説明書を大切に保管し、いつでも確認できるようにしてください。本製品は専門の技術者による修理が必要です。問題がございましたら、速やかに当社までご連絡ください！

重要注意事項

1、フィーダーを直射日光やその他の熱源に直接さらさないでください； 2、本機の動作電圧は24V、電流は2Aより大きい必要があり、大電力の電気設備と同じ電源プラグに接続しないでください。 3、乾燥した/柔らかい布（揮発性物質を含まないもの）でフィーダーを拭いてください； 4、不適切な安定性、溶剤、酸アルカリ、水浸または湿気のある環境に接触または暴露しないでください； 5、虫食いやネズミの噛み付き、異物の侵入などによる製品または部品（外壳、LEDスクリーン、インターフェース、電子部品回路など）の破損、錆び、損傷などを避けてください。 6、当社が認可した機関または人員以外による設置、修理、追加または分解を行わないでください；



輸送及び受領確認

お客様が受け取る商品が完全であることを確保するため、商品受領時に運送業者と対面で開梱検収し、製品に輸送損傷や欠品がないことを確認してから署名してください。輸送中の損傷や欠品がある場合は、署名しないでください。商品、商品梱包材及び付属品をそのままの状態で保管し、直ちに当社にご連絡ください。受領当日に需要者が受領製品に異議がない場合、検収合格とみなし、当社は貨物損傷の責任を負いません。（契約に別段の定めがある場合を除く）

フィーダー概要

(そのうちの1機種を例として紹介します。機種により一部構造が異なります。具体的には実物を基準としてください)

フィーダーの適用範囲

3.1.1 紙製ラベルであれFPC補強鋼片、各種マイラー粘着テープ、フォーム、防塵メッシュ、高温粘着テープなどであれ、巻式物料はすべてラベルフィーダーを使用できます。 3.1.2 物料サイズの互換性が高く、1台のラベルフィーダーで最大サイズ以内のすべてのサイズの物料に対応でき、同時に単列または複列をサポートし、機械の使用効率を最大限に実現します。 3.1.3 巻式フィーダーは主に包装、3C、FPC、電子業界に应用されています； 3.1.4 別途ラベリングマシンを購入する必要がなく、ラベルフィーダーとチップマウンターを組み合わせることで貼付作業を実現できます。

料巻はラベル取付軸スリーブから始まり、巻線軸を経由し、擋環で料巻を位置決めして左右の揺れを防止する必要があります；

ラベルガイド幅制限スライダー（六角レンチで内部のイモネジを緩め、料巻の幅に応じてガイドブロックを適切な位置に移動できます）を通し、押え片を通します（押え片の4本のイモネジを緩めたり締めたりして、ラベルの厚さに応じて高さを調整できます）；

押料カバーレバーを下に押し、押料カバーを開き、料巻を押料カバーと駆動軸の間に挟み、押料カバーを押してラベルを締め付けます；

最後に、空の料巻は廃料テープ回収軸スリーブを通して回収されます。

★注意事項：

料テープの角度方向は真っ直ぐに保つ必要があります；

剥離にくい小さいラベルは、剥離ブレードの方向を変更し、角度がより小さい面に換えて使用できます。

ラベルフィーダーのテープ通し方式

ラベルフィーダー光ファイバーセンサー操作説明

一、光ファイバーセンサー外観

- ①ラベルが光ファイバーポイント上にあるとき、光ファイバーアンプは対応する検出値を生成します。
- ②光ファイバー動作設定値 > 光ファイバー検出値で且つランプ点灯時、物料ありを検出；光ファイバー動作設定値 < 光ファイバー検出値、物料なし状態。図中の200は光ファイバー動作設定値であり、動作設定値は物料なし状態より200大きくすればよいです。

光ファイバーセンサー 動作設定値 光ファイバー検出値

二、ボタン説明

光ファイバー動作設定値を大きくする。 光ファイバー動作設定値を小さくする。

三、使用説明

ラベルフィーダーディスプレイ操作説明

一、ディスプレイ使用説明

- ①動作モード 自動：生産モード；手動：生産停止、上料・交換用；
- ②供料位置：供料距離を調節し、ラベルの大きさに応じて適切な送り距離を調節します。（ラベルが上に反ったり送りすぎの場合、供料位置が大きすぎます。ラベルが送り不到位の場合、供料位置を増やせます）；
- ③供料速度：ラベル剥離が完了している場合、速度を上げるか下げると、供料位置を対応して微調整する必要があります。貼片速度を追求しない場合、30-50に設定すればよく、供料の安定を保ちます；
- ④供料遅延：つまり1つの料を送った後、しばらくしてから次の料を送ります。単位は0.1s（マニピュレータの取り料が遅く、送り速度が速い場合、遅延を設定できます）；
- ⑤生産数量：ラベルが1列送り出されるごとのカウント、長押しでクリアして再カウントできます。：手動モードで、ラベルを1回送ります；手動モードで、料巻が少し後退します；自動モードでこのキーを押すと、供料位置の数値が自動的に減少します。：手動モードで、料巻が少し前進します；自動モードでこのキーを押すと、供料位置の数値が自動的に増加します。：パラメータ設定、中国語・英語形式を設定でき、ラベリングマシンとの通信信号を設定できます（信号線の接続が必要）。

アフター保証条例

製品の保証期間はご購入日から起算し、保証期間は1年間です。保証期間内に、製品自体の品質により正常に動作しない場合、当社は無償の修理サービスを提供いたします。以下の場合は、無償修理を提供いたしません： 一、製品または部品が対応する保証期間を超えている場合； 二、誤ったまたは不適切な使用、保守または保管による故障または損傷、例えば：不適切な運搬；製品の合理的な予想用途に従わない使用；外部デバイスの不適切な抜き差し；落下または不適切な外力による衝撃・圧迫； 三、不適切な温度、溶剤、酸アルカリ、水浸または湿気のある環境への接触または暴露；または異物の侵入による製品または部品の破損、錆び、損傷など 四、当社が認可した機関または人員以外による設置、修理、変更、追加または分解に起因する故障または損傷； 五、不可抗力または偶発事件による故障または損傷。保証期間満了後および無償保証条例に含まれない設備についても、お客様は当社の修理サービスを受けることができますが、部品代及び修理費用を状況に応じて申し受けます。製品出荷前に、お客様から提供されたサンプルに基づいてパラメータを調整しております。通常、製品受領後に電源を接続すれば使用できます。操作方法が不明な場合は、当社技術者によるオンラインリモート操作指導を行います。部品交換が必要な場合は、製品を物流で返送してください。

私たちの使命 電子業界の自動化分野において以下を解決することに尽力します： 製品の研究開発過程における「革新追求」の技術問題； 製品の工業生産における「安定動作」の技術問題； 製品の製造過程における「持続的品質」の管理問題； 製品の使用過程における「効率的で責任ある」サービス問題； お客様製品の「総合コスト」を継続的に低減する市場問題。